

青年部会 北海道視察研修を実施

青年部会は2024年8月5日～6日の日程で北海道のエルピー産業株式会社様、有限会社本田燃料電器様、株式会社アレフえこりん村様を訪問しました。北海道視察研修を次の通り報告します。

【参加者】長岡伸剛（長岡工業(株)）、白石潔（東白商事(株)）、鈴木修平（日東高圧(株)）、山田拓也（九州高圧(株)）、森光太郎（(株)宇都宮プロパン容器検査工場）、穴田雅昭（(株)関西高圧容器検査所）、小野田尊（(株)小野田商店）、荒畠誠顧問 以上8名（敬称略）

北海道視察研修報告書

視察目的：容器検査場を運営する同業者の事業所を視察、及び特徴的な事業展開を行うガス事業者や、バイオガスプラントを視察することで、自己研鑽に努めると共に、ガス容器検査の技術的発展につなげる

1件目訪問先 エルピー産業株式会社

住 所：北海道石狩市新港南3丁目700番地41

訪問目的：高圧ガス容器再検査に関する技術向上につなげる

面 談 者：代表取締役 小山泰昭 様

内 容：エルピー産業(株)石狩第一工場（容器検査場）を視察後、エルピー産業(株)石狩第二工場（プラント検査部門）を視察

所 見：北海道における容器再検査の繁忙期が本州と異なる点が大変興味深かった。通常、本州の容器検査場は、LPガスの最需要期である冬期が繁忙期である。他方、北海道では雪に覆われる冬期にLPガスのボンベを各家庭に配送することは困難であるため、LPガス販売事業者は、夏期にボンベを必要とする。結果として容器検査場の繁忙期も夏期になり、プラント検査部門も同様であるとの事。北海道は給湯及び暖房はガスではなく灯油で賄われることが多いため、各家庭のLPガスの消費量は本州と比べると相対的に少ない傾向があるようで、夏期にガス業務全般を集中させて終わらせたいという動きがあるようだ。また、プラント検査部門ではバルクローリー車の検査工程についても説明を受けた。融雪剤によるサビへの対応方法など、地域性を感じる事例も興味深かった。



エルピー産業(株)第二工場



バルク容器の廃棄処理について視察

2件目訪問先 有限会社本田燃料電器

住 所：北海道札幌市中央区南8条西1丁目13番地

訪問目的：LPガス質量販売に注力する事業者の事例を知る事で、高圧ガスに関する知見を広げる

面 談 者：代表取締役社長 本田利博 様

内 容：有限会社本田燃料電器本社を視察

所 見：LPガス質量販売に注力することで業績を伸ばし、業界紙などでも取り上げられている有限会社本田燃料電器を視察。LPガスのボンベレンタルや容器販売のノウハウを知る事が出来た。「LPガス質量販売に注力して久しいが、重大事故は発生していない」という話。そのノウハウには質量販売における安全性を担保するための知恵や工夫が随所に垣間見られ、大変参考となった。

質量販売に注力するのは、ひとえにLPガスのユーザーを増やしたい、という社長の「想い」であり、自社のPRにも積極的にSNSを活用しているとの事。実際、視察当日に本州からの新規客（キャンピングカーに積載するLPガスボンベの充填・点検を実施）が来店しており、Instagramが来店のきっかけになったようである。また、視察後には懇親の場を設けさせていただき、有意義な時間を過ごすことが出来た。



本田燃料電器様の店頭にて記念撮影



SNSを通じて来店されたキャンピングカー



懇親会の様子

3件目訪問先 株式会社アレフ えこりん村

住 所：北海道恵庭市牧場 241-2

訪問目的：バイオガスプラント視察により、高圧ガスに関する知見を広げる

面 談 者：SDGs 推進部 安西みゆき様、及川嘉彦様

内 容：株式会社アレフえこりん村を視察

所 見：レストランのチェーン店「びっくりドンキー」を経営する株式会社アレフが運営するえこりん村。バイオガスプラントはえこりん村にあり、食品廃棄物に対する取組として、小樽ビール醸造所で発生するビール粕および店舗で発生する生ごみのリサイクルかつ再生可能エネルギーの創出による、環境負荷低減を目指して 2002 年から事業を開始した。開始当初は、補助金などを活用し設備を新設できたが、20 年以上経過した今、施設の老朽化など色々な課題を抱えているとの話を伺った。また、バイオガスを生成する工程で発生するバイオ液肥の活用方法が確立していないと、事業として確立させるのは難しいとの事。バイオ液肥は臭気があるので散布時は周辺環境に配慮する必要あり、えこりん村のように、広い土地（牧草地）にバイオ液肥を散布できるような環境が無いと厳しい、という話が大変印象的だった。



えこりん村ウェルカムセンター



バイオガスプラントの前で記念撮影



視察の様子



(おまけ) 有志でゴルフを楽しみました